

EU Indicators

発表日: 2020年9月2日(水)

欧州経済指標コメント: 8月ユーロ圏消費者物価

～2016年央以来のマイナス圏に転落～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部

首席エコノミスト 田中 理 (TEL: 03-5221-4527)

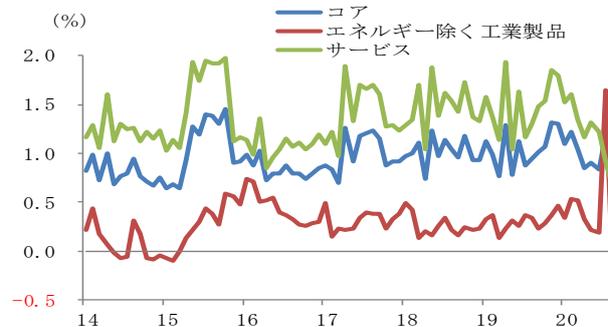
- 1日に発表された8月のユーロ圏の消費者物価の速報値は、前年比▲0.2%と2016年5月以来のマイナス圏に転落。コア物価（食料・アルコール・たばこ・エネルギーを除く）の上昇率が大幅に鈍化（前月：同+1.2%→今月：同+0.4%）したことが主因。速報段階で入手可能なその他の内訳は、エネルギー価格（同▲8.4%→同▲7.8%）のマイナス幅がやや縮小した一方、食料・アルコール・たばこ（同+2.0%→同+1.7%）の伸び率が鈍化した。
- コア物価の伸び率は統計開始以来の最低水準を更新。細かい内訳は17日の確報で公表されるが、サービス価格（同+0.9%→同+0.7%）の上昇率鈍化に加えて、エネルギーを除く工業製品価格（同+1.7%→同▲0.1%）の大幅な落ち込みが足を引っ張った。フランス、イタリア、ベルギーで夏季商戦が例年に比べて後ずれした影響や、ドイツの付加価値税率の引き下げの影響が遅れて顕在化した面もあるが、コロナ禍の需要低迷や最近のユーロ高が物価の下押しに働いている模様。
- 6月時点のECBのスタッフ見通しは、2020年の米国型コア（エネルギーと食料を除く）を+0.8%と予想。8月計数の一部は一過性の要因による下振れとみられるが、それを除いても物価の推移はECBの想定を下回っている公算。同時に金融市場の動揺封じ込めもあり、ECBはPEPPの買い入れ規模を徐々に減額中。7月の理事会では買い入れ枠を使い切るかを巡って意見が対立していた。物価予想の引き下げに合わせ、9月に追加緩和が決定される可能性は低いと判断。

■ユーロ圏: 消費者物価（前年比）



注: コア物価は食料・たばこ・アルコール・エネルギー除く
出所: Eurostat

■ユーロ圏: コア消費者物価（前年比）



注: コア物価は食料・たばこ・アルコール・エネルギー除く
出所: Eurostat

■ユーロ圏の消費者物価 (%)

	2019				2020				2020							
	3Q	4Q	1Q	2Q	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	
消費者物価 (前期比)	0.2	0.3	0.1	-0.4	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	-0.3	-0.2	-0.1	0.2	0.2	-0.4	
消費者物価 (前年比)	1.0	1.0	1.1	0.2	0.7	1.0	1.3	1.4	1.2	0.7	0.3	0.1	0.3	0.4	-0.2	
コア消費者物価 (前年比)	0.9	1.2	1.1	0.9	1.1	1.3	1.3	1.1	1.2	1.0	0.9	0.9	0.8	1.2	0.4	
食料/アルコール/たばこ (前年比)	1.8	1.8	2.2	3.4	1.5	1.9	2.0	2.1	2.1	2.4	3.6	3.4	3.2	2.0	1.7	
食料 (前年比)	1.6	1.5	1.9	3.3	1.2	1.5	1.7	1.7	1.8	2.3	3.6	3.4	3.0	1.6	-	
アルコール (前年比)	1.0	0.8	0.9	0.8	0.8	0.8	0.8	1.2	0.9	0.8	0.7	0.9	0.8	-0.0	-	
たばこ (前年比)	4.1	5.0	5.0	5.6	4.2	5.4	5.4	5.3	5.1	4.7	5.1	5.5	6.2	6.3	-	
エネルギー (前年比)	-0.7	-2.1	-1.0	-10.3	-3.1	-3.2	0.2	1.9	-0.3	-4.5	-9.7	-11.9	-9.3	-8.4	-7.8	

注: 消費者物価の前期比は季節調整後。コア消費者物価は食料・アルコール・たばこ・エネルギーを除く。出所: Eurostat

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。